

# Symantec™ Endpoint Protection 始めましょう

# Symantec Endpoint Protection 始めましょう

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

Documentation version: 11.00.06.00.00

PN: 20983668

## 著作権について

Copyright © 2010 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec、Symantec ロゴ、Bloodhound、Confidence Online、デジタル免疫システム、LiveUpdate、Norton、Norton 360、Sygate、TruScan は、米国と他の国の Symantec Corporation または関係企業の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。本書のいかなる部分も、Symantec Corporation およびそのライセンサーから事前に文書による許諾を得ることなく、いかなる形式、手段であれ、無断で複製することはできません。

本書は現状有姿で提供されるものであり、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害性に関する黙示的な保証を含むすべての条件、表明、および保証は、この免責が法的に無効であると見なされない限り、免責されるものとします。Symantec Corporation は本書の提供、遂行、使用に関連する付随的または結果的損害に対して一切の責任を負いません。本書の内容は、事前に通知することなく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商業用コンピュータソフトウェアと見なされ、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Rights in Commercial Computer Software or Commercial Computer Software Documentation」、その他の後継規則の規定により制限された権利の対象となります。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Symantec Corporation

350 Ellis Street

Mountain View, CA 94043

<http://www.symantec.com>

Printed in the United States of America.

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

# 始めましょう

この文書では以下の項目について説明しています。

- Symantec Endpoint Protection について
- Symantec Endpoint Protection と Symantec Network Access Control のコンポーネント
- Symantec Endpoint Protection 11 の新機能
- システムの必要条件
- Symantec Endpoint Protection または Symantec Network Access Control への移行について
- Symantec Endpoint Protection Manager と埋め込みデータベースのインストールと設定
- Windows コンピュータでのクライアントソフトウェアの設定と配備
- 詳細情報の入手方法

## Symantec Endpoint Protection について

Symantec Endpoint Protection はウイルス防止と高度な脅威防止を組み合わせることでコンピュータを既知の脅威や未知の脅威からプロアクティブに守ります。

Symantec Endpoint Protection はウイルス、ワーム、トロイの木馬、スパイウェア、アドウェアのようなマルウェアから保護します。また、ルートキット、ゼロデイ攻撃、変異するスパイウェアのような、従来のセキュリティ対策を回避する最も高度な攻撃からも保護します。アプリケーションとデバイスの詳細な制御も可能です。Symantec Endpoint Protection は、エンドポイントのコンピューティングデバイスを複数の保護層で守ります。

お使いのシマンテック製ソフトウェアには Symantec Network Access Control が含まれている場合があります。また、Symantec Network Access Control は Symantec Endpoint Protection Manager を使って Symantec Endpoint Protection クライアントと Symantec

Network Access Control クライアントのインストールと管理を行います。Symantec Network Access Control は、クライアントにネットワークへのアクセスを許可する前に、クライアントが組織のセキュリティポリシーに準拠していることを確認します。Symantec Endpoint Protection と Symantec Network Access Control は連携して動作しますが、別々に購入する必要があります。

p.4 の「Symantec Endpoint Protection と Symantec Network Access Control のコンポーネント」を参照してください。

## Symantec Endpoint Protection と Symantec Network Access Control のコンポーネント

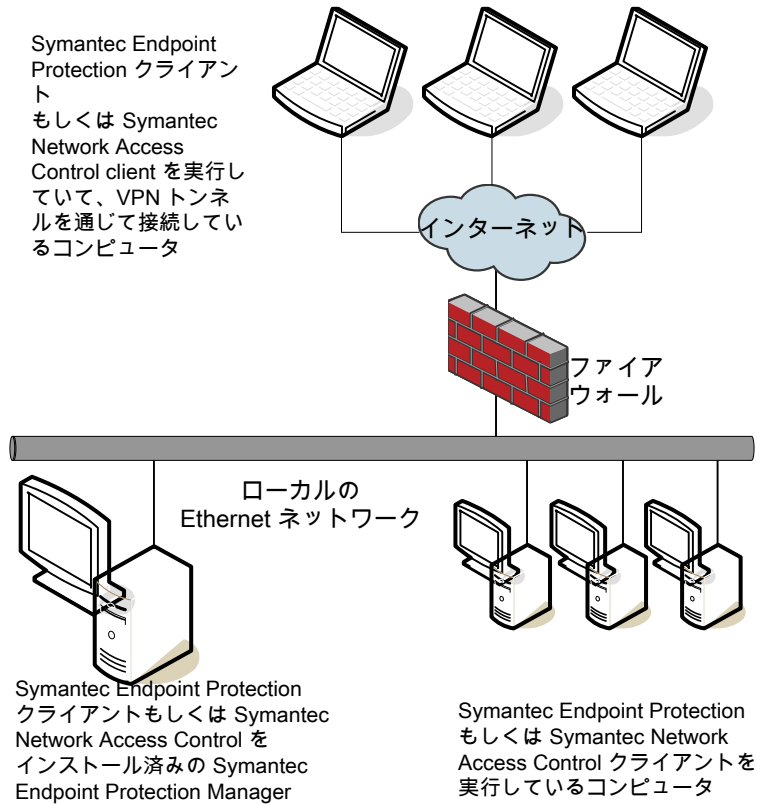
表 1-1 に製品コンポーネントとその機能説明の一覧を示します。

表 1-1 製品コンポーネント

コンポーネント	説明
Symantec Endpoint Protection Manager	<p>Symantec Endpoint Protection Manager は、会社のネットワークに接続するクライアントコンピュータを管理する管理サーバーです。</p> <p>Symantec Endpoint Protection Manager には次のソフトウェアが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンソールソフトウェアはセキュリティポリシーとクライアントコンピュータを調整して管理します。</li> <li>■ サーバーソフトウェアはクライアントコンピュータとコンソール間のセキュア通信を提供します。</li> </ul>
データベース	<p>セキュリティポリシーとイベントを格納するデータベース。このデータベースは Symantec Endpoint Protection Manager をホストするコンピュータにインストールされます。</p>
Symantec Endpoint Protection クライアント	<p>Symantec Endpoint Protection クライアントは、ウイルス対策とスパイウェア対策のスキャン、ファイアウォール、侵入防止システム、他の保護技術でコンピュータを保護します。保護するサーバー、デスクトップ、ポータブルコンピュータで動作します。</p> <p>詳しくは、『Symantec Endpoint Protection および Symantec Network Access Control クライアントガイド』を参照してください。</p> <p>Symantec Endpoint Protection Mac クライアントはウイルス対策とスパイウェア対策のスキャンでコンピュータを保護します。</p>

コンポーネント	説明
Symantec Protection Center	Symantec Protection Center は Symantec Endpoint Protection Manager のインストール時にインストールされます。Protection Center では、サポート対象の複数のシマンテック社のセキュリティ製品から単一管理環境に管理コンソールを統合できます。
LiveUpdate サーバー (省略可能)	LiveUpdate サーバーは定義、シグネチャ、製品の更新を Symantec LiveUpdate サーバーからダウンロードしてクライアントコンピュータに更新を配布します。  詳しくは、『Symantec LiveUpdate Administrator ユーザーガイド』を参照してください。
中央検疫 (省略可能)	中央検疫サーバーは、Symantec Endpoint Protection クライアントから疑わしいファイルと未修復の感染アイテムを受信します。中央検疫はシマンテックセキュリティレスポンスにサンプルを転送し、そこでサンプルが分析されます。脅威が新しい場合、シマンテックセキュリティレスポンスはセキュリティ更新を生成します。  詳しくは、『シマンテック中央検疫実装ガイド』を参照してください。

図 1-1 ネットワークの製品コンポーネント



p.3 の「Symantec Endpoint Protection について」を参照してください。

## Symantec Endpoint Protection 11 の新機能

現在のリリースは、Symantec Endpoint Protection と Symantec Network Access Control をより簡単に効率的に使うことができるようにする次の改良点を含んでいます。

詳しくは、『Symantec Endpoint Protection および Symantec Network Access Control 管理者ガイド』を参照してください。

表 1-2 このバージョンの新機能

機能	メリット
Web ベースのコンソールは登録済みのシマンテック製品にシングルサインオンの機能を提供します	<p>Symantec Protection Center は、サポート対象の複数のシマンテック製品にアクセスし、管理することを可能にする Web ベースのコンソールです。また、コンソールは製品全体に渡って可視性と分析を提供し、有用なセキュリティフィードバックと攻撃の統計を提供します。</p> <p>コンソールは次の登録済みのシマンテック製品にシングルサインオンの画面を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Symantec Endpoint Protection</li> <li>■ Symantec Critical System Protection</li> <li>■ Symantec Web Gateway</li> <li>■ Symantec Brightmail Gateway</li> <li>■ Symantec IT Analytics</li> <li>■ Symantec Data Loss Prevention</li> </ul>
Symantec Endpoint Protection Manager の Web ベースのコンソールはより簡単なリモート管理アクセスを提供します	今すぐ Web ベースのコンソールで Symantec Endpoint Protection Manager をリモートで管理できます。Java ベースのリモートコンソールも引き続き利用可能です。
Symantec Endpoint Protection には Mac コンピュータで動作するクライアントソフトウェアが含まれています	Mac OS X コンピュータでウイルス対策とスパイウェア対策を提供するシマンテック製ソフトウェアを実行する Mac クライアントを管理するために、Symantec Endpoint Protection Manager を使用できます。
定時スキャンはランダムに開始できます	定時スキャンが開始される時間範囲を指定し、その時間範囲内の異なる時間に開始するようにスキャンを有効にできます。スキャンをランダムに実行することにより、特に仮想化された環境でスキャンパフォーマンスを向上できます。
拡張されたデフォルトのウイルス対策とスパイウェア対策のセキュリティポリシー	<p>新製品のインストール時にデフォルトのセキュリティポリシーを変更すると、Symantec Endpoint Protection はより効率的にマルウェアを検出します。</p> <p>Symantec Endpoint Protection のバージョン 11 RU6 にアップグレードするお客様は新しいデフォルトのポリシーを受信しません。推奨される新しいウイルス対策とスパイウェア対策のセキュリティポリシー設定を参照してポリシーを手動で設定変更するには、の「Security Response recommendations for Symantec Endpoint Protection settings」を参照してください。</p>

機能	メリット
Symantec Endpoint Recovery Tool は重度に感染したコンピュータからマルウェアをスキャンして除去します	<b>Symantec Endpoint Recovery Tool</b> は、ディスクに焼き付けることが可能で、クライアントコンピュータからマルウェアをスキャンして取除くために使用できるイメージを提供します。感染が重度で <b>Symantec Endpoint Protection</b> では効果的にクリーニングできないコンピュータにこのツールを使います。  次の URL からツールをダウンロードできます。 <a href="https://fileconnect.symantec.com/">https://fileconnect.symantec.com/</a>

## システムの必要条件

シマンテック製ソフトウェアは特定プロトコル、オペレーティングシステムと **Service Pack**、ソフトウェア、ハードウェアを必要とします。シマンテック製ソフトウェアをインストールするすべてのコンピュータは、使用されるオペレーティングシステムの推奨システム必要条件を満たすか、これ以上である必要があります。

このガイドにはシステムの必要条件についての概略情報が含まれています。通常、小さなネットワークやテストネットワークへのインストールにはこの情報で十分です。より複雑なネットワークに製品をインストールする場合はその前に、完全なシステムの必要条件を参照してください。

完全なシステムの必要条件については、『**Symantec Endpoint Protection** および **Symantec Network Access Control** インストールガイド』を参照してください。最新の日本語版のシステムの必要条件は、シマンテック社のテクニカルサポート Web サイトを参照してください。

## Symantec Endpoint Protection または Symantec Network Access Control への移行について

シマンテックのレガシー製品から **Symantec Endpoint Protection** への移行は複雑な処理です。シマンテック製レガシーソフトウェアを移行する前にすべての移行情報を読み込み理解する必要があります。また、移行する前にテスト環境のすべての移行手続きをテストする必要があります。

次の製品の移行対応バージョンがネットワークにインストールされている場合は、移行を実行する必要があります。

- Symantec Antivirus Corporate Edition
- Symantec AntiVirus for Mac
- Symantec Client Security

- Symantec Sygate Enterprise Protection

- Sygate Secure Enterprise

他のシマンテック製品から正常に移行するために、次の移行情報を最初に読んでください。

- 移行の Web サイト

- 『Symantec Endpoint Protection および Symantec Network Access Control インストールガイド』の「移行とアップグレード」の部

## Symantec Endpoint Protection Manager と埋め込みデータベースのインストールと設定

最も簡単な方法は、Symantec Endpoint Protection Manager と埋め込みデータベースを一緒にインストールすることです。埋め込みデータベースは最大で 5,000 のクライアントをサポートします。簡易モードで管理サーバーを設定する場合は埋め込みデータベースが自動的に選択されます。

Symantec Endpoint Protection Manager のインストールは 3 つの部に分けられます。

- 最初のステップでは、管理サーバーとコンソールをインストールします。
- 2 番目のステップでは、管理サーバーを設定してデータベースを作成します。
- 3 番目のステップでは、クライアントソフトウェアを作成してクライアントコンピュータに配備します。クライアントソフトウェアは、管理サーバーのインストール中またはインストール後に配備できます。管理サーバーを実行するコンピュータでクライアントソフトウェアを配備する必要があります。

各ステップはウィザードを使って実行できます。各ステップのウィザードが完了すると、次のウィザードに進むかどうかを確認するメッセージが表示されます。

### Symantec Endpoint Protection Manager をインストールするには

- 1 ドライブに製品ディスクを挿入して、インストールを開始します。ダウンロード済みの製品については、CD1 フォルダを開き、**Setup.exe** をダブルクリックしてください。
- 2 [ようこそ] ページで、次のいずれかの操作を実行します。
  - Symantec Endpoint Protection をインストールするには、[Symantec Endpoint Protection Manager のインストール] をクリックします。
  - Symantec Network Access Control をインストールするには、[Symantec Network Access Control のインストール] をクリックし、次に [Symantec Endpoint Protection Manager のインストール] をクリックします。

- 3 インストールウィザードの[ようこそ]ページで、[次へ]をクリックします。

コンピュータがシステムの最小必要条件を満たしているかどうかを確認するためのチェックが実行されます。コンピュータが最小必要条件を満たしていない場合は、どのリソースが満たしていないかを示すメッセージが表示されます。[はい]をクリックして **Symantec Endpoint Protection Manager** のインストールを続行することもできますが、その場合、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- 4 [使用許諾契約]ページで、[使用許諾契約の条項に同意します]にチェックマークを付け、[次へ]をクリックします。
- 5 [インストール先フォルダ]ページで、インストールディレクトリを受け入れるか変更し、[次へ]をクリックします。
- 6 [Web サイトの選択]ページで、次のいずれかを実行します。
  - このコンピュータの唯一の Web サーバーとして **Symantec Endpoint Protection Manager IIS Web** を設定するには、[カスタム Web サイトを作成する]にチェックマークを付けてから、[TCP ポート]を受け入れるか変更します。

---

**メモ:** この設定はほとんどのインストールにおいて他のプログラムと競合することはありませんので推奨されます。

---

  - このコンピュータ上で、**Symantec Endpoint Protection Manager IIS Web** サーバーを他の Web サイトとともに実行できるようにするには、[デフォルト Web サイトを使う]にチェックマークを付けます。
- 7 [次へ]をクリックします。
- 8 [プログラムをインストールする準備ができました]ページで、[インストール]をクリックします。
- 9 インストールが終了し、[インストールウィザードが完了しました]ページが表示されたら、[完了]をクリックします。

[管理サーバーの設定ウィザード]ページが表示されるまで数秒待機します。コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動してログオンするとウィザードが自動的に表示され、インストールを続行できます。
- 10 選択した設定モード[簡易]または[拡張]に対応する手順を実行します。

簡易モードで Symantec Endpoint Protection Manager と埋め込みデータベースを設定するには

- 1 [管理サーバーの設定ウィザード] ページで、[簡易] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 2 6 文字以上のパスワードを入力して確定します。オプションで、管理者の電子メールアドレスを入力します。

このパスワードは、Symantec Endpoint Protection Manager コンソールへのログオンに使う管理者アカウントのパスワードです。このパスワードは、ディザスタリカバリのためと、Symantec Network Access Control をインストールしてエンフォーサを追加する場合に必要な暗号化パスワードとしても使われます。インストール後、管理者アカウントのパスワードが変更されても、暗号化パスワードは変更されません。

実働環境に Symantec Endpoint Protection をインストールするときは、このパスワードを記録します。

- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [データ収集] ページで、次のいずれかを実行します。
  - この製品の使用方法についての情報を Symantec Endpoint Protection からシマンテック社に送信するには、このチェックボックスにチェックマークを付けてください。
  - この製品の使用方法についての情報をシマンテック社に送信しないようにするには、このチェックボックスからチェックマークをはずしてください。
- 5 [設定の概略] ページに、Symantec Endpoint Protection Manager のインストールに使われる値が表示されます。設定は記録用として印刷できます。または [次へ] をクリックします。

データベースが作成されるまで待ちます。これには数分かかる場合があります。

- 6 [管理サーバーの設定ウィザードが完了しました] ページで、次のいずれかの操作を実行します。
  - [移行と配備のウィザード] を使ってクライアントソフトウェアを配備する場合は、[はい] をクリックして [完了] をクリックします。
  - Symantec Endpoint Protection Manager コンソールにログオンしてからクライアントソフトウェアを配備するには、[いいえ] をクリックしてから [完了] をクリックします。

拡張モードで Symantec Endpoint Protection Manager と埋め込みデータベースを設定するには

- 1 [管理サーバーの設定ウィザード] ページで、[拡張] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 2 このサーバーで管理するクライアントの数を選択して、[次へ] をクリックします。  
この選択項目は、このコンピュータに Symantec Endpoint Protection Manager を初めてインストールする場合にのみ表示されます。
- 3 [1 つ目のサイトをインストールする] にチェックマークを付け、[次へ] をクリックします。
- 4 [サーバー情報] ページで、デフォルト値を受け入れるか変更し、[次へ] をクリックします。
- 5 [サイト名] ページの [サイト] フィールドで、デフォルト名を受け入れるか変更し、[次へ] をクリックします。
- 6 [暗号化パスワード] ページで、パスワードを入力して確定し、[次へ] をクリックします。  
このパスワードを記録し、安全な場所に保管します。データベースの作成後にパスワードを変更または回復することはできません。また、復元するバックアップデータベースがない場合にディザスタリカバリの目的でもこのパスワードを入力する必要があります。
- 7 [データベースの種類] ページで、[埋め込みデータベース] にチェックマークを付け、[次へ] をクリックします。
- 8 [システム管理者アカウント] ページで、6 文字以上のパスワードを入力して確定します。オプションで、管理者の電子メールアドレスを入力します。[次へ] をクリックします。  
コンソールに初めてログオンするときにここで設定したユーザー名とパスワードを使います。  
データベースが作成されるまで待ちます。これには数分かかる場合があります。
- 9 [管理サーバーの設定ウィザードが完了しました] ページで、次のいずれかの操作を実行します。
  - [移行と配備のウィザード] を使ってクライアントソフトウェアを配備する場合は、[はい] をクリックして [完了] をクリックします。
  - Symantec Endpoint Protection Manager コンソールにログオンしてからクライアントソフトウェアを配備するには、[いいえ] をクリックしてから [完了] をクリックします。

p.13 の「Windows コンピュータでのクライアントソフトウェアの設定と配備」を参照してください。

# Windows コンピュータでのクライアントソフトウェアの設定と配備

移行と配備のウィザードを使って、クライアントソフトウェアパッケージを設定できます。設定が終わると、ユーザーの選択によりプッシュ配備ウィザードが表示され、Windows コンピュータへのクライアントソフトウェアパッケージの配備が可能になります。

---

**メモ:** この手順では、インストールファイルを配置するためのディレクトリを選択します。手順を開始する前に、このディレクトリを作成することもできます。また、コンピュータが含まれる Windows ドメインかワークグループを、管理用の認証情報を使って認証する必要があります。

---

ファイアウォール、Windows XP、Windows Vista、または Windows Server 2008 を実行するコンピュータには特別な条件があります。ファイアウォールは、TCP ポート 139 と 445 を介したリモート配備を許可する必要があります。また、ワークグループ内のコンピュータや Windows XP を実行するコンピュータでは、簡易ファイルの共有を無効にする必要があります。Windows Vista と Windows Server 2008 では、ネットワーク探索を有効にする必要があります。

ポートとプロトコルの必要条件を含むシステム必要条件の総合リストについては、『**Symantec Endpoint Protection** および **Symantec Network Access Control** のインストールガイド』を参照してください。

また、管理外コンピュータの検索ユーティリティを使って、クライアントソフトウェアを実行していないクライアントコンピュータを検出し、それらのコンピュータにクライアントソフトウェアをインストールすることもできます。

---

**メモ:** Mac コンピュータのクライアントソフトウェアパッケージを作成するために移行と配備のウィザードを使用できます。パッケージを配備するためにプッシュ配備ウィザードを使うことはできません。

---

クライアントソフトウェアのインストールと配備について詳しくは、『**Symantec Endpoint Protection** および **Symantec Network Access Control** インストールガイド』を参照してください。

**Windows コンピュータでクライアントソフトウェアを設定して配備するには**

- 1 次のいずれかの操作を実行して移行と配備のウィザードを起動します。
  - Windows のスタートメニューで、[スタート]、[プログラム]、[Symantec Endpoint Protection Manager]、[移行と配備のウィザード]の順に選択します。  
このパスは、使っている Windows のバージョンによって異なる場合があります。

- 管理サーバーの設定ウィザードの最後のパネルで、[はい]をクリックし、[完了]をクリックします。  
p.9の「Symantec Endpoint Protection Manager と埋め込みデータベースのインストールと設定」を参照してください。
- 2 [移行と配備のウィザードによるこそ]パネルで、[次へ]をクリックします。
- 3 [どうしますか?]パネルで、[Windowsクライアントを配備する]にチェックマークを付け、[次へ]をクリックします。
- 4 次のパネルで、[クライアントの配備先になる新しいグループの名前を指定する]にチェックマークを付け、フィールドにグループ名を入力し、[次へ]をクリックします。  
クライアントソフトウェアを配備し、コンソールにログオンしたら、コンソールでこのグループを検索できます。
- 5 次のパネルで、インストールしない保護の種類の種類にチェックマークをはずし(Symantec Endpoint Protection のみ)、[次へ]をクリックします。
- 6 次のパネルで、パッケージ、ファイル、ユーザーの介入に使うインストールオプションにチェックマークを付けます。
- 7 [参照]をクリックし、インストールファイルの配置先のディレクトリを検索して選択し、[開く]をクリックします。
- 8 [次へ]をクリックします。
- 9 次のパネルで、[はい]にチェックマークを付け、[完了]をクリックします。  
[プッシュ配備ウィザード]が表示されるまでに、グループ用のインストールパッケージの作成とエクスポートに数分かかります。

[プッシュ配備ウィザード]を使ってクライアントソフトウェアを配備するには

- 1 プッシュ配備ウィザードの[使用可能なコンピュータ]の下でツリーを展開し、クライアントソフトウェアをインストールするコンピュータを選択し、[追加 >]をクリックします。
- 2 [リモートクライアント認証]ダイアログボックスで、ユーザー名とパスワードを入力し、次に[OK]をクリックします。  
ユーザー名とパスワードは、コンピュータを含む Windows ドメインやワークグループを認証できるものである必要があります。
- 3 すべてのコンピュータを選択し、それらが右ペインに表示されたら、[完了]をクリックします。

## 詳細情報の入手方法

製品について詳しくは、次のマニュアルを参照してください。

- Symantec Endpoint Protection および Symantec Network Access Control インストールガイド

- Symantec Endpoint Protection および Symantec Network Access Control 管理者ガイド
- Symantec Endpoint Protection および Symantec Network Access Control クライアントガイド
- LiveUpdate Administrator スタートガイド
- Symantec LiveUpdate Administrator ユーザーガイド
- シマンテック中央検疫実装ガイド
- Symantec Endpoint Protection 11.0 Windows Small Business Server ベストプラクティスのホワイトペーパー
- 製品ディスク3のツールフォルダのいくつかのサブディレクトリにあるツール固有の文書
- インストール製品ディスクのルートフォルダにある Readme ファイル
- ガイドに含まれる情報とコンテキスト固有の内容が含まれるヘルプ

主要なマニュアルは製品ディスクのマニュアルのフォルダから利用できます。マニュアルの更新版は、シマンテック社のテクニカルサポート Web サイトで入手できます。

表 1-8 シマンテック社の Web サイト

情報の種類	Web アドレス
Symantec Endpoint Protection 体験版	<a href="http://www.symantec.com/business/products/downloads/">http://www.symantec.com/business/products/downloads/</a>
一般的なナレッジベース リリースと更新情報 マニュアルとマニュアル更新 連絡方法	<a href="http://www.symantec.com/business/support/overview.jsp?pid=54619">http://www.symantec.com/business/support/overview.jsp?pid=54619</a>
リリースノートおよびリリース後の追加情報	<a href="http://www.symantec.com/business/support/overview.jsp?pid=54619">http://www.symantec.com/business/support/overview.jsp?pid=54619</a>
ウイルスなどの脅威についての情報と更新情報	<a href="http://www.symantec.com/ja/jp/enterprise/security_response/index.jsp">http://www.symantec.com/ja/jp/enterprise/security_response/index.jsp</a>
製品の最新情報と更新情報	<a href="http://www.symantec.com/ja/jp/business/index.jsp">http://www.symantec.com/ja/jp/business/index.jsp</a>
Symantec Endpoint Protection Forums	<a href="https://forums.symantec.com/syment/board?board.id=endpoint_protection11">https://forums.symantec.com/syment/board?board.id=endpoint_protection11</a>

